

第2号様式（第1条関係）

設 計 書

その1（建築物の新築、改築、増築又は移転の場合）

種 別	細 目	申請の部分	既存の部分	合 計	構 造	階 数	
仮設の建築物 地下に設ける建築物 その他の建築物	敷地面積	/	/	(A) m ²	木 造 鉄 骨 造 コンクリートブロック造 鉄筋コンクリート造 そ の 他 ()	1 階 2 階 その他 ()	
	建築面積	m ² (m ²)	(m ²)	(B) m ² (m ²)			
	建ぺい率 B/A	/	/	% ()			
	新築 改築 増築 移転	地下占用面積	m ²	m ²	m ²	屋 根	
	床面積の合計	m ² (m ²)	m ²	m ² (m ²)	かわらぶき スレートぶき その他()		
	最高の棟高	m (m)	m	m (m)	外 壁		
	側面線 後退距離	道路側	m (m)	m (m)	/	板 張 鉄 板 張 モルタル塗 しつくい塗 その他()	
その他		m (m)	m (m)	/			

備考

- 「建築物の種別」、「構造」、「階数」、「屋根」及び「外壁」欄は、該当事項に○印をつけること。
この場合において、「その他」に○印をつけた場合にはかつこ内に事項を具体的に記入すること。
- 「申請の部分」、「既存の部分」及び「合計」欄のかつこ内には、滅失又は増改築前のものを記入すること。
- 「床面積の合計」欄は、同一の敷地内にある建築物の1階の床面積の合計を記入すること。
- 「側面線後退距離」欄は、最短部分の距離を記入すること。
- 位置図、配置図（縮尺50分の1から300分の1までの範囲内のもので、方位及び周辺の状況の判見するもの）、立面図（縮尺50分の1から300分の1までの範囲のもので2面以上の外観、意匠、色彩等を記入したもの）及び現況写真（行為地、その周辺及びその行為地の規模の状況により名刺判以上の大きさのもの）を添付すること。

その2 (工作物(建築物を除く。)の新築、改築、増築又は移転の場合)

種別	細目	申請の部分	既存の部分	合計	構造	屋根	外壁	
仮設の建築物 地下に設ける建築物 その他の建築物	新築 改築 増築 移転	敷地面積	m ²	m ²	m ²	木造 鉄骨造 鉄筋コンクリート造 その他	鉄板張 スレートぶき その他 ()	板張 鉄板張 その他 ()
		地下占用面積	m ²	m ²	m ²			
		床面積の合計	m ²	m ²	m ²			
		最高の高さ	m	m	m			
		工作物の最少土かぶり	m	m	m			

備考

- 「種別」及び「床面積の合計」欄は、その1の備考1及び3を参照して記入すること。
- その1の備考の5に掲げる書類及び写真を添付すること。

その3 (建築物その他工作物の色彩の変更の場合)

種別	色彩変更部位	色彩変更面積	仕様		
				変更前	変更後
建築物 工作物 ()	屋根	m ²			
	壁	m ²	材質		
	塀	m ²	色彩		
	広告板 広告塔	m ²	隣接地の現況		
	その他 ()	m ²			

備考

- 「種別」欄は、該当事項に○印をつけること。この場合において、「工作物」に○印をつけた場合には、かつこ内に具体的な名称を記入すること。
- 「色彩変更部位」欄は、色彩の変更がある部位に○印をつけ、「色彩変更面積」欄に面積を記入すること。この場合において、「その他」に○印をつけた場合にはかつこ内に部位を具体的に記入すること。
- 「仕様」欄は、色彩変更のある部位別に記入すること。
- 「隣接地の現況」欄には、林地、伐採跡地、草生地等の別及び建築物その他の工作物の有無を記入すること。
- その1の備考5に掲げる書類及び写真を添付すること。ただし、立面図には、色彩の変更を行う部分のみ彩色すること。

その4 (宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更の場合)

種 別	細 目		行 為 場 所	建築物の敷地内 建築物の敷地外	跡 地 の 処 理 方 法
宅地の造成	行為面積(A)	m ²			
	木竹の保全、 植栽面積(B)	m ²			
	緑地率 (B)/(A)	%			
土地の開墾 そ の 他	移動土量	切 土	m ³	隣 接 地 の 現 況	
		盛 土	m ³		
		客 土	m ³		
		その他 ()	m ³		
		生ずる法面の最 高高	m		

備考

- 1 「種別」及び「行為場所」欄は、該当事項に○印をつけること。
- 2 「木竹の保全、植栽面積(B)」欄は、木竹の保全又は植栽が行われる面積の合計を記入すること。
- 3 「隣接地の現況」欄は、その3の備考4を参照して記入すること。
- 4 「跡地の処理方法」欄には、裸地、砂利舗装、埋戻しなどのように処理の方法を具体的に記入するとともに、法面がある場合には、法面についても芝付け、コンクリートブロック擁壁、放置などのように具体的に記入すること。
- 5 位置図、計画平面図(縮尺200分の1から800分の1までの程度のもの)、縦横断面(縮尺100分の1以上のもの)、構造図(縮尺50分の1から200分の1までの範囲内のもの)及び現況写真(行為地、その周辺及びその規模の状況により名刺判以上の大きさのもの)を添付すること。

その5（水面の埋立干拓の場合）

細 目		隣接地の現況	工 事 方 法	跡地の処理方法
水 面 面 積	m ²			
埋立又は干拓面積	m ²			

備考

- 1 「隣接地の現況」及び「跡地の処理方法」欄は、その3の備考4及びその4の備考4を参照して記入すること。
- 2 その4の備考5に掲げる書類及び写真を添付すること。

その6（木竹の伐採の場合）

種 別	伐採区域面積	m ²	隣接地の現況	跡地の処理方法
針 葉 樹 林 広 葉 樹 林 針 広 混 合 樹 林 竹 林 そ の 他	伐 採 量	m ³		
	伐 採 方 法	皆 伐 択伐 % その他()		

備考

- 1 「種別」欄は、該当事項に○印をつけること。
- 2 択伐の率は、伐採区域における総材積に対する択伐量を記入すること。
- 3 「跡地の処理方法」欄は、植栽、放置等の別を記入すること。
- 4 位置図、計画平面図（縮尺300分の1から1000分の1までの範囲のもの）及び現況写真（行為地、その周辺及びその規模の状況により名刺判以上の大きさのもの）を添付すること。

その7（土石の類の採取の場合）

細 目				跡地の処理方法
採 取 区 域 面 積	m ²	採 取 土 石 類 の 種 類		
		採 取 に よ つ て 生 ず る 最 高 法 高		
採 取 量	m ³	採 取 に よ り 生 じ た 法 面 の 処 理 方 法		
採 取 方 法	露 天 堀 そ の 他 ()			

備考

- 1 「跡地の処理方法」欄は、その4の備考4を参照して記入すること。
- 2 その4備考5に掲げる書類及び写真を添付すること。

その8 (屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積)

種 別	堆積面積	m ²
土 石 廃棄物 () 再生資源 ()	堆積物の高さ	m
	隣接地の現況	
	植栽等による 修景措置	

備 考

- 1 「種別」欄は、該当事項に○印をつけること。この場合において、「廃棄物」又は「再生資源」に○印をつけた場合には、かつこ内に具体的な品目を記入すること。
- 2 「堆積面積」欄は、堆積物の水平投影面積の合計を記入すること。
- 3 「堆積物の高さ」欄は、堆積物の最高の高さを記入すること。
- 4 「隣接地の現況」欄は、その3の備考4を参照して記入すること。
- 5 「植栽等による修景措置」欄は、具体的な修景方法を記入すること。